

令和7年度
事業報告書

学校法人明照学園

目 次

- I 法人の概要
 - 1 法人の名称等
 - 2 建学の目的・精神・教育方針
 - 3 校名『樹徳』の由来
 - 4 学校の沿革
 - 5 設置する学校・学科等
 - 6 学校・学科等の生徒数の状況
 - 7 役員及び評議員の概要
 - 8 教職員の概要

- II 事業の概要(主要事項)
 - 1 法人（昭和26年3月8日認可）
 - 2 樹徳高等学校（昭和23年8月6日認可）
 - 3 樹徳中学校（平成13年3月29日認可）
 - 4 樹徳幼稚園（昭和28年6月6日認可）

- III 財務の概要
 - 1 決算の概要
 - (1) 資金収支計算書の状況
 - (2) 事業活動収支計算書の状況
 - (3) 貸借対照表の状況

I 法人の概要

1 法人の名称等

- ・ 法人名称 学校法人 明照学園 (昭和26年3月8日認可)
- ・ 理事長名 野口 秀樹
- ・ 所在地 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号

2 建学の目的・精神・教育方針

明照学園は、教育基本法第1条の目的「教育は人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国の育成を期して行われなければならない。」を踏まえ、仏教精神（宗教的情操）に基づき、日本国民である自覚と誇りを堅持し、国家・社会ひいては国際社会に奉仕し得る人間の育成を目的とする。

即ち、高い学問（知性）・技術の修得と、深い智慧と慈悲（徳性）、健康で強靱な体力精神力との調和ある人間育成に努めることを目的に設立された。

この為に、教職員は夫々の専門分野のたゆまぬ研鑽と、自らの人格陶冶（仏教精神）に努めなければならない。

創立の理念は仏教を基にした人間教育である。「自主独立」、自分の足で自分の人生を切り拓いていくことのできる人材の育成である。自己を見つめ、「私」へと続いてきた命の尊厳、今を生かすための他力の存在、この不思議に感謝し、この喜びを体感する。大いなる他力をいただく我は、他のために生きる。これは世の摂理、バランスであり、そこに私の与えられた使命がある。

学校生活の中で祈る。この心を行動に！あらゆるものに感謝する。これを行動に！喜ぶ。この喜びを他のための行動に！心のひだを柔軟にさせる感動の多い学校生活を！「心即行」の実践者を育成したい。行いは心を成長させるものである。

人はいかにすぐれた師に出会い、よき教えに接したとしても、自分を律する者は自分以外にはない。自律心なき者は自主独立の人間とは言えないのである。心を練磨し、心をしっかり育ていく教育を実践していきたい。

- ① 仏教精神（宗教的情操）に基づく全人教育＝手を合わせる。
（智慧と慈悲との調和による、感謝のできる人間教育）
- ② 制服の三条の白線が意味するもの（篤敬三宝）
これは、聖徳太子が「十七条憲法 第二条」で説かれた「篤敬三宝、篤く三宝を敬え」にある、仏（み仏）、法（説かれた教え）、僧（教えを守る者たち）を篤く敬う心を願います。
「仏」明るく・・・道理をわきまえること 【智慧】
「法」正しく・・・善い行いをする事 【道徳】
「僧」睦まじく・・・仲良くすること 【調和】
この教えを、心と言葉と身体で繰り返し実践し、習慣化し、自らの人格に浸透させることを目指します。
- ③ 校名に託された教育の心
明照学園・・・智慧の完成＝無明に光を（違いを知り・同じを知る）
明照大師（法然上人の大師号）
樹徳・・・慈悲の完成
徳を樹つるは滋きに務め、悪を除くは本を務む。
- ④ 校是・・・夢は大きく 根は深く（大樹深根・良樹細根）
- ⑤ 学習・・・器に応じた授業
- ⑥ 生活指導の精神＝どのような生徒を育てたいか。
自分を大切にする生徒・・・感謝
自分以外の人を大切にする生徒・・・思いやり
社会に役立つ有用な生徒・・・報恩

3 校名『樹徳』の由来

樹徳とは、徳を樹えることで、徳を身に樹てることである。わが身に徳を積みおさめることで、積善し悪を除いて成人することの意である。古くは、もと書経泰誓篇にある言葉である。

樹徳務滋除惡務本・・・徳を樹つるは滋きを務め、悪を除くは本を務む・・・と読む。

恩徳を人にしくのは、少し余計がよい。悪を除くには、根もとから除くがよい。除かなければ後の害をなすということである。

近くは、教育勅語の中に樹徳深厚・・・徳を樹つることは深厚なりとある。

大正3年、創立に際して学校に命名したのは、山田郡長の直井三郎氏で、今日の樹徳高等学校の隆昌を予見された、輝かしい余徳に深甚の感謝を捧げるものである。

明照学園の明照は、明治天皇から法然上人に賜った明照大師号によるもので、因みに上人は、50年毎に大師号下賜の栄に浴しておられる。

本校は、浄土門宗の学校で、校名としては明照の智慧による高い良識と質実剛健の行を一体とした伝統の中、たくましく日々怠らない厳然たる私学である。

4 学校の沿革

学校法人明照学園は、大正3年（1914年）桐生市本町6丁目、田中山浄運寺住職野口周善先生により創立された裁縫伝習所を母体とし、同年10月樹徳裁縫女学校として正式に認可を得、以来112年間輝かしい隆盛と充実の歴史を培ってきた。

現在、普通科最難関大学進学コース、同特別大学進学コース、同大学進学コース、同普通コース、そして平成13年度に隣接の稲荷町に開校した樹徳中学校からの中高一貫コースを加えて5コースを設置している。また、広沢町に認定こども園樹徳幼稚園を併設している。

この学園に学ぶ者約1,200名、卒業生は約3万7千名を数え、地域社会への貢献も少なくないと自負するとともに、校名の語る高い良識と、明照の智慧による力強い個性的な生活を目指し、典雅な明るさをもって、質実剛健の輝かしい伝統の恵みの中でたくましい努力を続けている。

年 度	事 項
大正 3 年	4 月 裁縫女学校として桐生新町(現在の本町5丁目)に創立 9 月 本町6丁目に移転
大正 4 年	4 月 裁縫女学校第1回卒業式举行
大正 13 年	樹徳裁縫女学校の設置科を群馬県に提出 本科(2年)、速成科(1年)、専攻科(6か月)、別科(年限を定めず)の4科に 洋服科(1年)、随意科(年限を定めず)を新設
昭和 2 年	桐生市大字新宿稲荷塚1002番地(現在の錦町1丁目1番20号)に移転
昭和 11 年	女子セーラー服の併用開始
昭和 14 年	女子の制服をセーラー服に統一
昭和 16 年	財団法人樹徳高等裁縫女学校となる
昭和 21 年	樹徳高等女学校と改称、女子部校歌制定
昭和 22 年	カスリーン台風新川大水害被災校舎流失
昭和 25 年	樹徳高等学校・同中学校と改称 別科2課程を併設 初代校長 野口周善先生遷化 2代校長 野口健作先生就任
昭和 26 年	学校法人明照学園樹徳高等学校と改称 同窓会発足 初代会長に半田大子氏就任
昭和 28 年	学校後援会発足 初代会長に星野亀三郎氏就任 樹徳幼稚園を併設
昭和 30 年	講堂落成 奨学金給費制度発足
昭和 32 年	高等学校充実のため中学校廃止
昭和 34 年	4教室(第3校舎)建築 「明照の鐘」設置
昭和 35 年	男子部普通科、商業科の2課程を設置 男子部校歌制定 柔道演技第1回発表会
昭和 37 年	6教室(第4校舎)建築 女子部商業科設置 「樹妙だより」第1回発行
昭和 38 年	男子部第1回卒業式举行 講堂増築 4教室(第6校舎)建築 柔道場(第6校舎内)改築 「樹妙」初版発行
昭和 39 年	8教室(第7校舎)建築 管理住宅建築 相生総合グラウンド設置
昭和 40 年	2教室(第5校舎学習室)増築

昭和41年	4教室（第3・第4校舎）増築 初代校長顕彰碑建立
昭和42年	梅田町字高沢に大滝山荘を設置 雨天体操場（第5校舎）増築 タイプ室（第6校舎）増築
昭和43年	合宿室を設置
昭和45年	商業実践室、計算実務室、被服実習室（第1校舎）改築開始 広沢町にグラウンド用地取得（現在の古庭の入球場）
昭和46年	浄土宗総本山知恩院、第1回全教職員練成宿泊実施 商業実践室、計算実務室、被服実習室及び コンピュータ富士通FACOM-230-10設置（第1校舎）完成
昭和47年	女子部普通科設置 硬式野球部後援会発足 初代会長堀越至一郎氏就任
昭和48年	男子部情報処理科新設 広沢町に野球場「現在の古庭の入球場」新設 コンピュータ富士通FACOM-230-15設置（第1校舎） 第1回中学生柔道・卓球大会（招待試合）举行（現在の月影杯）
昭和51年	生徒寮（天神寮）設置
昭和52年	2代校長 野口健策先生 群馬県功労者表彰受賞 特別進学コースとしてKクラス発足
昭和53年	2代校長 野口健策先生 藍綬褒章受章 天神寮を廃止し相生寮を開設 第4校舎新館建築
昭和54年	2代校長 野口健策先生遷化 3代校長 星野幸一先生就任 明照学園 樹徳高等学校服務規定制定 広沢野球場に合宿所新設 力誉健策校長顕彰記念樹徳高等学校技能優秀者表彰規定制定
昭和55年	樹の根の会発足 初代会長に小島一男氏就任 樹妙会（同窓会）、樹幹会（学校後援会）、樹の根の会（後援会OB会） 樹球会（野球部後援会）各会名命名
昭和56年	奨学生制度制定 相生寮を廃止し愛宕寮とする 幼稚園を広沢町古庭の入に移転
昭和57年	力誉健策校長顕彰記念館新築 浄運寺28世住職樹徳高等学校創立者 野口周善先生顕彰奨学生制度規定制定 「緑蔭讃歌」星野幸一先生御詠 生徒生活日誌「やわらぎ」作成・使用開始 第1回群馬県私学教員海外教育事情視察開始、参加 「樹幹だより（学校後援会新聞）」第1号発行
昭和58年	文化祭（樹徳慈善バザー）を月影祭と名称変更 「あかぎ国体」を記念し市街地清掃奉仕開始
昭和59年	第1回緑蔭祭（歴代校長、職員、生徒関係、カスリーン台風新川大水害被災物故者慰 霊祭）举行 職員服務規定制定、諸規定集編纂
昭和60年	第1回生徒海外研修（ホームステイ）実施
昭和61年	正道館建築、本町6丁目2階建駐輪場建築 川内町にベジタブルセンター設置 樹輪会（協力店会）発足 初代会長に白砂一男氏就任
昭和62年	K1を文系、K2を理系コースとして充実を図る 第1回校内合掌コンクール実施
昭和63年	セミナーセンター設置 第1回月影杯剣道大会（招待試合）举行 男子部 愛宕寮を全面取得して学習合宿所として開設
平成 元年	渡良瀬川河川敷グラウンド設置 女子情報処理コース新設 コンピュータ室新設、大型コンピュータ導入 稲荷町駐車場新設（現樹徳中学校地）
平成 2年	セミナーセンター完成 第1回月影杯剣道大会（招待試合）举行 女子部 女子情報処理科設置 学園敷地全面取得 相撲部県総体6年連続10回目の優勝

平成 3 年	在籍生徒 2, 700 名を超える 硬式野球部全国高等学校野球選手権大会（甲子園）出場 稲荷町駐車場拡張
平成 4 年	進学コースとして S クラス 設置 広沢野球場拡張整備「古庭の入球場」と命名 3 代校長 星野幸一先生 群馬県私立中学・高等学校協会第 6 代会長に就任 群馬県私学厚生協会第 6 代理事長に就任 群馬県私学振興会副理事長に就任 群馬県私立学校審議会委員に就任 日本私立中学高等学校連合会常任理事に就任 群馬県総合表彰受賞
平成 6 年	硬式野球部全国高等学校野球選手権大会（甲子園）2 年連続出場 芸術作品鑑賞室「美の部屋」完成 セミナーセンター茶室完成
平成 7 年	創立 80 周年記念式典（11 月 15 日） ベジタブルセンター相生町に移転 梅田町大滝山荘に研修館完成
平成 8 年	3 代校長 星野幸一先生 群馬県功労者表彰受賞 男子部情報商業科、女子部情報商業科を新設
平成 9 年	3 代校長 星野幸一先生 私学教育振興功労者文部大臣表彰受賞 錦町駐車場用地取得
平成 10 年	普通科総合コースを J 組と改称
平成 11 年	錦町駐車場拡張
平成 12 年	学校週 5 日制を実施、土曜講座開設 相生町 5 丁目にグラウンド用地取得 新宿 2 丁目に校地取得
平成 13 年	樹徳中学校を開校、稲荷町 4 番 12 号に中学校校舎建築、中高一貫教育を開始 中学校初代校長 野口秀樹先生就任 相生第 2 総合グラウンド設置
平成 14 年	相撲部群馬県総合体育大会 20 回優勝による「特別優秀学校」受賞 卓球部群馬県総合体育大会 10 年連続優勝による「優秀学校」受賞 浜松町 2 丁目に校地取得
平成 15 年	家庭科・情報商業科を 2 年次からのコース制に移行、普通科のみの募集となる ラグビー部全国高等学校ラグビーフットボール大会（花園）出場
平成 16 年	中高一貫高等部校舎建築 3 代校長 星野幸一先生 瑞宝小授章受章 群馬県私学振興会理事長に就任
平成 17 年	創立 90 周年記念式典（11 月 5 日） 家庭科・情報処理科廃止
平成 18 年	普通科 S K（スーパーケイ）コース設置 錦町 1 丁目（999 番 1 号他）新川通校地拡張用地取得（2,776㎡）
平成 19 年	中高一貫高等部第 1 期生卒業（3 月 1 日） 梅田町大滝山荘 学校用地（道路敷）購入完了
平成 20 年	S K コースを S S（スーパーサイエンス）コースに改称
平成 21 年	錦町 1 丁目（989 番 19 号他）駐車場設置
平成 22 年	広沢グラウンド（古庭の入球場）内、学校用地（道路敷）購入完了 広沢グラウンド（古庭の入球場）内にトレーニングルーム新設・システムマシン設置 錦町新川通校地拡張用地取得
平成 24 年	稲荷町（樹徳中学校東側隣接地）学校用地取得 明照学園理事長 野口秀樹先生 藍綬褒章受章 群馬県私立中学・高等学校協会会長に就任 公益財団法人群馬県私学振興会副理事長に就任
平成 25 年	樹徳コミュニティーセンター「み法（のり）」完成 3 代校長 星野幸一先生勇退（25.3.31） 4 代校長 野口秀樹先生就任（25.4.1） 力誉記念館 1 階・3 階を改築、教室 7 部屋増設、女子トイレ改装（26.1.9 完成） 正道館 1 階を改築、理科室 2 部屋を設置 第 3・第 4 校舎取り壊し（26.3 終了）
平成 26 年	高等学校入学定員を 460 名に変更 創立 100 周年記念事業 女子の制服を変更（平成 26 年度入学生より） 新校舎立志館竣工（26.10.17）

平成 27 年	正道館のトイレを全面改修 第1、2、5、7校舎及びセミナーセンター取り壊し 創立100周年記念委嘱作品「アカシアの樹」を作曲家広瀬勇夫氏により作曲 明照学園のロゴマーク、シンボルマーク完成(27.1) ミャンマーにマイトリー基金による学校建設・開校 明照体育館完成(27.4) 創立100周年記念式典(27.5.23) 明照学園理事長 野口秀樹先生 群馬県功労者表彰受賞 卒業記念品としてJTKオリジナルネクタイ・スカーフを作成
平成 28 年	新校章ロゴマークの校旗・応援旗・部旗完成
平成 29 年	男女共学に変更(平成29年度入学生より) 男子の制服を変更(平成29年度入学生より) 錦町駐車場用地借地 図書館にキャレルデスク導入 卒業記念品としてJTKオリジナル風呂敷を作成(女子のみ) 樹輪会(関係事業所の会)を解散
平成 30 年	明照学園「共生図書館」再興(一貫校高校棟に連結)・開館(平成30年5月1日) 男子の夏制服を変更(平成30年度入学生より) 梅田大瀧山荘を閉荘
平成 31 年	樹妙会(同窓会)本部を「み法」に置く
令和 元年	錦町(南門前)駐車場用地取得(拡張) 稲荷町(一貫校高校棟東側隣接地)学校用地取得 錦町(教会脇駐車場隣接地)学校用地取得 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休校措置(3月2日～5月29日)
令和 2 年	令和3年度入試からインターネット出願システム導入 同システムによりオープンスクール・プレテストの申込みも可能となる
令和 3 年	学校組織の改編及び新しい教育動向への対応の検討に着手する。
令和 4 年	硬式野球部全国高等学校野球選手権大会(甲子園)30年ぶり3回目の出場 生徒会を設置、校内選挙にて初代役員が決定し活動始まる
令和 5 年	高等学校入学定員を380名に変更
令和 6 年	広沢グラウンド室内練習場改築

5 設置する学校・学科等

(令和7年5月1日現在)

設置する学校	開校年月日	学科等	所在地
樹徳高等学校	大正3年4月	全日制	〒376-0023
校長：野口 秀樹	S23.8.6 認可	普通科	桐生市錦町一丁目1番20号
樹徳中学校	平成13年4月		〒376-0022
校長：薊 法明	H13.3.29 認可		桐生市稲荷町4-12
樹徳幼稚園	昭和26年4月		〒376-0013
園長：佐野 悦生	S28.6.6 認可		桐生市広沢町三丁目4475

6 学校・学科等の生徒数の状況

(令和7年5月1日現在)

学 校 名	入学定員	収容定員	在籍者数	備 考
樹徳高等学校	普通科	男 380	男 546	
			女 375	
樹徳中学校		男 60	男 52	
			女 74	
樹徳幼稚園		男 30	男 15	
			女 18	

7 役員及び評議員の概要

(1) 役員

(令和7年5月末現在)

役職名	氏 名	寄附行為選任区分	備 考
理事長	野口 秀樹	第8条第1項第1号 第15第2項	常勤、高等学校長
理 事	阿部 高久	第8条第1項第2号	非常勤
理 事	星野 榮助	第8条第1項第2号	非常勤
理 事	小倉 康宏	第8条第1項第2号	非常勤
理 事	岸 泰宏	第8条第1項第2号	非常勤
理 事	小暮晴一郎	第8条第1項第2号	非常勤
監 事	高村 利久	第23条	非常勤
監 事	山口 正夫	第23条	非常勤

(2) 評議員

(令和7年6月末現在)

氏 名	寄附行為選任区分		備 考
薊 法 明	第33条第1項第1号	中学校長	常 勤
轟 公 明	第33条第1項第1号	事務長	常 勤
丸橋 嘉一	第33条第1項第2号	同窓生	非常勤
向田 靖	第33条第1項第3号	学識経験者	非常勤
野口 幹子	第33条第1項第3号	学識経験者	非常勤
押見新一郎	第33条第1項第3号	学識経験者	非常勤
杉戸 健二	第33条第1項第3号	学識経験者	非常勤

8 教職員の概要

(令和7年5月1日現在)

(単位：人)

区 分		高等学校	中学校	幼稚園	計
教育職員	本務	70 (20)	16 (6)	8 (7)	94 (33)
	兼務	28 (11)	9 (2)	1 (1)	38 (14)
職 員	本務	19 (8)	3 (0)	2 (0)	24 (8)
	兼務	4 (1)	1 (0)	0 (0)	5 (1)
計		121 (40)	29 (8)	11 (8)	161 (56)

※ () 内は女子職員

Ⅱ 事業の概要(主要事項)

1 法人

(1) 理事会の開催状況

- ① 令和7年5月29日
 - ・ 第1号議案 新理事候補者の意見聴取について
 - ・ 第2号議案 学校法人資産処分の意見聴取について
 - ・ 第3号議案 評議員会の招集について
- ② 令和7年5月29日
 - ・ 第1号議案 新理事、理事長の選任について
 - ・ 第2号議案 令和6年度事業報告の承認について
 - ・ 第3号議案 令和6年度収支決算・監査報告の承認について
 - ・ 第4号議案 学校法人資産の処分について
 - ・ 第5号議案 定時評議員会の招集について
- ③ 令和7年9月19日
 - ・ 第1号議案 評議員会の招集について
- ④ 令和7年9月19日
 - ・ 第1号議案 樹徳高等学校学則の一部改正について
 - ・ 第2号議案 樹徳中学校学則の一部改正について
- ⑤ 令和7年12月12日
 - ・ 第1号議案 育児・介護休業等に関する規則の一部改正(案)の意見聴取について
 - ・ 第2号議案 評議員会の招集について
- ⑥ 令和7年12月12日
 - ・ 第1号議案 育児・介護休業等に関する規則の一部改正について
- ⑦ 令和8年3月13日
 - ・ 第1号議案 樹徳高等学校学則の一部改正(案)の意見聴取について
 - ・ 第2号議案 樹徳高等学校就業規則の一部改正(案)の意見聴取について
 - ・ 第3号議案 令和8年度事業計画(案)の意見聴取について
 - ・ 第4号議案 令和8年度資金収支予算(案)の意見聴取について
 - ・ 第5号議案 評議員会の招集について
- ⑧ 令和8年3月13日
 - ・ 第1号議案 樹徳高等学校学則の一部改正について
 - ・ 第2号議案 樹徳高等学校就業規則の一部改正について
 - ・ 第3号議案 令和8年度事業計画について
 - ・ 第4号議案 令和8年度資金収支予算について

(2) 評議員会の開催状況

- ① 令和7年5月29日
 - ・ 第1号議案 新理事候補者に対する意見について
 - ・ 第2号議案 欠員となる評議員の選任について
 - ・ 第3号議案 学校法人資産の処分の意見について

- ② 令和7年6月9日
- ・ 第1号議案 令和6年度事業報告の意見について
 - ・ 第2号議案 令和6年度収支決算の意見について
 - ・ 第3号議案 新評議員の選任について
 - ・ 第4号議案 新監事の選任について
 - ・ 第5号議案 顧問設置の同意について
- ③ 令和7年9月19日
- ・ 第1号議案 樹徳高等学校学則の一部改正の意見について
 - ・ 第2号議案 樹徳中学校学則の一部改正の意見について
- ④ 令和7年12月12日
- ・ 第1号議案 育児・介護休業等に関する規則の一部改正(案)の意見について
- ⑤ 令和8年3月13日
- ・ 第1号議案 樹徳高等学校学則の一部改正(案)の意見について
 - ・ 第2号議案 樹徳高等学校就業規則の一部改正(案)の意見について
 - ・ 第3号議案 令和8年度事業計画(案)の意見について
 - ・ 第4号議案 令和8年度資金収支予算(案)の意見について

2 樹徳高等学校

(1) 令和7年度 教育目標

- ① 「共生(ともいき)」という仏教の教えを基にして、自他を尊重し、多様性を認めるとともに、生かされていることに感謝し、自ら進んで社会に貢献しようとする豊かな心を涵養する。
- ② 社会や生活における課題を自分のこととして引きつけて捉えるとともに、自分の人生を自分の力で切り拓いていく、智慧のある「自主独立」の人材を育成する。
- ③ 希望する進路目標を実現できる確かな学力を獲得するとともに、将来の様々な課題にも対応できる人間力と健やかな身体を養成する。

(2) 生徒の状況

令和7年度入学状況・生徒数

	入 学 状 況				在籍生徒数(R7.5.1現在)				前年度
	定員	外部中学校		一貫校 進級者	1学年	2学年	3学年	計	在籍生徒数
		志願者	入学者		10クラス	12クラス	12クラス	34クラス	
男	380	1,145	142	15	157	196	193	546	561
女		849	80	16	96	140	139	375	426
計	380	1,994	222	31	253	336	332	921	987

(3) 奨学生の状況

(令和7年度 人)

奨学生区分	SA	A	B	計
学業	16	2	7	25
部活動	15	70	64	149
計	31	72	71	174

(4) 卒業生の進路状況

(令和7年度末 人)

進路区分		人数	内 訳				前年度
進学者	四年制大学	203	国公立 県内	33 62	私立 県外	170 141	186
	短期大学	8	国公立 県内	0 6	私立 県外	8 2	11
	専修学校	74					63
	各種学校等	19					9
	公共職業能力開発施設	1					0
就職	就職者	25	男子 県内	15 21	女子 県外	10 4	34
そ の 他		0					0
合 計		330					303

(5) 施設及び設備の整備状況

- ① 明照体育館 空調設備新設工事
- ② 正道館2F～5F 空調設備更新工事

3 樹徳中学校

(1) 令和7年度 教育目標

- ① 自ら学び、創造力豊かな生徒を育成する。
- ② 正しい判断力を持つ、心豊かな生徒を育成する。
- ③ 健やかな体を育み、活力のある生徒を育成する。

(2) 生徒の状況

令和7年度入学状況・生徒数

	入 学 状 況				在籍生徒数(R7.5.1現在)				前年度
	定員	志願者	合格者	入学者	1学年	2学年	3学年	計	在籍生徒数
					2クラス	2クラス	2クラス	6クラス	6クラス
男	60	24	21	18	18	21	13	52	52
女		35	35	20	20	25	29	74	72
計		59	56	38	38	46	42	126	124

(3) 施設及び設備の整備状況

- ① 放送設備修繕工事

4 樹徳幼稚園

(1) 令和7年度 教育目標

- ① 「明るく正しく仲良く伸び伸びと」をモットーに、幼児期にふさわしい環境整え、集団生活の中で豊かな楽しい体験を通して、心身ともに健康で、心豊かな子どもを育てる。

(2) 園児の状況

(R7.5.1現在)

認定区分		在園園児数					園児の住所地		
		1号認定児		2・3号認定児		計	桐生市	みどり市	その他
		男	女	男	女				
ひよこ	2歳児	0	(1)	0	0	1	1	0	0
すみれ	満3歳児	0	1 (1)	3	1	6	5	1	0
もも	年少	2	2	2	1	7	2	5	0
さくら	年中	0	2	3	4	9	6	3	0
たけ	年長	1	2	4	3	10	8	0	2
合 計		3	9	12	9	33	22	9	2

※()内は未認定児、合計は未認定児を含む。

Ⅲ 財務の概要

1 決算の概要

(1) 資金収支計算書の状況

令和7年度の決算額の予算額及び対前年度との比較は次のとおりである。

(単位:円)

		令和7年度				
	科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	前年度対比	
					前年度決算額	比 率
収入の部	学生生徒等納付金収入	520,937,000	501,137,860	19,799,140	544,862,320	91.98%
	手数料収入	44,694,000	45,593,780	▲ 899,780	42,448,590	107.41%
	寄付金収入	11,800,000	42,960,000	▲ 31,160,000	11,650,000	368.76%
	補助金収入	535,575,000	551,407,107	▲ 15,832,107	527,234,742	104.58%
	付随事業・収益事業収入	10,210,000	11,863,036	▲ 1,653,036	14,308,036	82.91%
	受取利息・配当金収入	15,755,000	28,269,628	▲ 12,514,628	45,335,527	62.36%
	雑収入	39,021,000	45,919,233	▲ 6,898,233	32,313,283	142.11%
	前受金収入	82,112,000	78,724,000	3,388,000	66,116,000	119.07%
	その他の収入	585,690,000	709,302,939	▲ 123,612,939	545,683,414	129.98%
	資金収入調整勘定	▲ 127,412,000	▲ 146,647,683	19,235,683	▲ 134,919,403	108.69%
	前年度繰越支払資金	240,600,000	192,418,455	48,181,545	263,506,936	73.02%
	収入の部合計	1,958,982,000	2,060,948,355	▲ 101,966,355	1,958,539,445	105.23%
支出の部	人件費支出	934,033,000	903,707,806	30,325,194	900,328,665	100.38%
	教育研究経費支出	187,964,000	202,462,512	▲ 14,498,512	178,636,356	113.34%
	管理経費支出	52,257,000	70,200,758	▲ 17,943,758	54,538,656	128.72%
	借入金等利息支出	146,000	145,312	688	203,437	71.43%
	借入金等返済支出	18,750,000	18,750,000	0	18,750,000	100.00%
	施設関係支出	60,700,000	71,500,000	▲ 10,800,000	19,635,550	364.14%
	設備関係支出	10,960,000	31,387,969	▲ 20,427,969	12,956,923	242.25%
	資産運用支出	95,500,000	106,452,458	▲ 10,952,458	67,934,073	156.70%
	その他の支出	488,260,000	502,949,518	▲ 14,689,518	549,991,872	91.45%
	予備費	8,178,000	0	8,178,000	0	
	資金支出調整勘定支出	▲ 45,096,000	▲ 51,517,668	6,421,668	▲ 36,854,542	139.79%
	次年度繰越支払資金	147,330,000	204,909,690	▲ 57,579,690	192,418,455	106.49%
	支出の部合計	1,958,982,000	2,060,948,355	▲ 101,966,355	1,958,539,445	105.23%

(2) 事業活動収支計算書の状況

令和7年度の決算額の予算額及び対前年度との比較は次のとおりである。

(単位:円)

			令和7年度				
		科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	前年度対比	
						前年度決算額	比 率
教育活動収入の部	事業活動収入	学生生徒等納付金	520,937,000	501,137,860	19,799,140	544,862,320	91.98%
		手数料	44,694,000	45,593,780	▲ 899,780	42,448,590	107.41%
		寄付金	11,800,000	9,960,000	1,840,000	11,650,000	85.49%
		経常費等補助金	535,575,000	534,907,107	667,893	527,234,742	101.46%
		付随事業収入	10,210,000	11,741,166	▲ 1,531,166	14,212,506	82.61%
		雑収入	39,021,000	45,919,233	▲ 6,898,233	32,313,283	142.11%
		教育活動収入計	1,162,237,000	1,149,259,146	12,977,854	1,172,721,441	98.00%

動収支	事業活動支出の部	科	目	予	算	額	決	算	額	差	異	前年度対比		
												前年度決算額	比	率
		人件費		934,033,000		906,414,621		27,618,379		900,328,665		100.68%		
		教育研究費		335,524,000		351,356,549		▲ 15,832,549		336,972,226		104.27%		
		管理経費		54,272,000		72,341,982		▲ 18,069,982		56,715,231		127.55%		
		徴収不能額		0		0		0		0				
		教育活動支出計		1,323,829,000		1,330,113,152		▲ 6,284,152		1,294,016,122		102.79%		
教育活動収支差額				▲ 161,592,000		▲ 180,854,006		19,262,006		▲ 121,294,681		149.10%		
教育活動外収支	事業活動収入の部	科	目	予	算	額	決	算	額	差	異	前年度対比		
												前年度決算額	比	率
		受取利息・配当金		15,755,000		28,269,628		▲ 12,514,628		45,335,527		62.36%		
		その他の受取利息・配当金		15,755,000		28,269,628		▲ 12,514,628		45,335,527		62.36%		
		教育活動外収入計		15,755,000		28,269,628		▲ 12,514,628		45,335,527		62.36%		
	事業活動支出の部	科	目	予	算	額	決	算	額	差	異	前年度対比		
												前年度決算額	比	率
		借入金等利息		146,000		145,312		688		203,437		71.43%		
		借入金利息		146,000		145,312		688		203,437		71.43%		
		教育活動外支出計		146,000		145,312		688		203,437		71.43%		
教育活動外収支差額				15,609,000		28,124,316		▲ 12,515,316		45,132,090		62.32%		
経常収支差額				▲ 145,983,000		▲ 152,729,690		6,746,690		▲ 76,162,591		200.53%		
特別収支	事業活動収入の部	科	目	予	算	額	決	算	額	差	異	前年度対比		
												前年度決算額	比	率
		その他の特別収入		40,000,000		49,500,000		▲ 9,500,000		0				
		施設設備寄付金		40,000,000		33,000,000		7,000,000		0				
		施設設備補助金		0		16,500,000		▲ 16,500,000		0				
	特別収入計		40,000,000		49,500,000		▲ 9,500,000		0					
	事業活動支出の部	科	目	予	算	額	決	算	額	差	異	前年度対比		
												前年度決算額	比	率
		資産処分差額		0		0		0		0				
		車両処分差額		0		0		0		0				
		その他の特別支出		0		53,464,518		▲ 53,464,518		27,815,000		192.21%		
		その他の特別支出		0		0		0		27,815,000				
		賞与引当金特別繰入額		0		53,464,518		▲ 53,464,518		0				
		特別支出計		0		53,464,518		▲ 53,464,518		27,815,000		192.21%		
	特別収支差額				40,000,000		▲ 3,964,518		43,964,518		▲ 27,815,000		14.25%	
	〔予備費〕				8,178,000		／		8,178,000		／		／	
基本金組入前当年度収支差額				▲ 114,161,000		▲ 156,694,208		42,533,208		▲ 103,977,591		150.70%		
基本金組入額合計				▲ 71,660,000		▲ 118,271,551		46,611,551		▲ 112,440,862		105.19%		

当年度収支差額	▲ 185,821,000	▲ 274,965,759	89,144,759	▲ 216,418,453	127.05%
前年度繰越収支差額	242,768,000	279,026,965	▲ 36,258,965	495,445,418	56.32%
基本金取崩額	0	1,340,990	▲ 1,340,990	0	
翌年度繰越収支差額	56,947,000	5,402,196	51,544,804	279,026,965	1.94%

(参考)

事業活動収入計	1,217,992,000	1,227,028,774	▲ 9,036,774	1,218,056,968	100.74%
事業活動支出計	1,332,153,000	1,383,722,982	▲ 51,569,982	1,322,034,559	104.67%

(3) 貸借対照表の状況

令和7年度末における貸借対照表は次のとおりである。

令和8年3月31日現在 (単位：円)

	資産の部				
	科 目	本年度末	前年度末	増 減	
	固定資産	10,759,358,542	10,877,434,976	▲ 118,076,434	
	有形固定資産	6,972,696,284	7,020,843,576	▲ 48,147,292	
	特定資産	3,768,149,096	3,838,078,238	▲ 69,929,142	
	その他の固定資産	18,513,162	18,513,162	0	
	流動資産	293,104,600	251,829,415	41,275,185	
	資産の部合計	11,052,463,142	11,129,264,391	▲ 76,801,249	
	負債の部				
	科 目	本年度末	前年度末	増 減	
	固定負債	43,925,000	62,675,000	▲ 18,750,000	
	長期借入金	18,750,000	37,500,000	▲ 18,750,000	
	長期未払金	0	0	0	
	退職給与引当金	25,175,000	25,175,000	0	
	流動負債	314,429,742	215,786,783	98,642,959	
	短期借入金	18,750,000	18,750,000	0	
	未払金	50,657,517	34,522,340	16,135,177	
	賞与引当金	56,171,333	0	56,171,333	
	前受金	78,724,000	66,116,000	12,608,000	
	預り金	110,126,892	96,398,443	13,728,449	
	負債の部合計	358,354,742	278,461,783	79,892,959	
	純資産の部				
	科 目	本年度末	前年度末	増 減	
	基本金	10,688,706,204	10,571,775,643	116,930,561	
	第1号基本金	10,592,706,204	10,475,775,643	116,930,561	
	第4号基本金	96,000,000	96,000,000	0	
	繰越収支差額	5,402,196	279,026,965	▲ 273,624,769	
	翌年度繰越収支差額	5,402,196	279,026,965	▲ 273,624,769	
	純資産の部合計	10,694,108,400	10,850,802,608	▲ 156,694,208	
	負債及び純資産の部合計	11,052,463,142	11,129,264,391	▲ 76,801,249	